



◆第四回 ひっしょうへのみち

心勝への道 ～新建材の先駆者～

会長が『商報』をつくるきっかけとなった出来事や、時代背景、会長の考えをシリーズでお伝えしていきます。

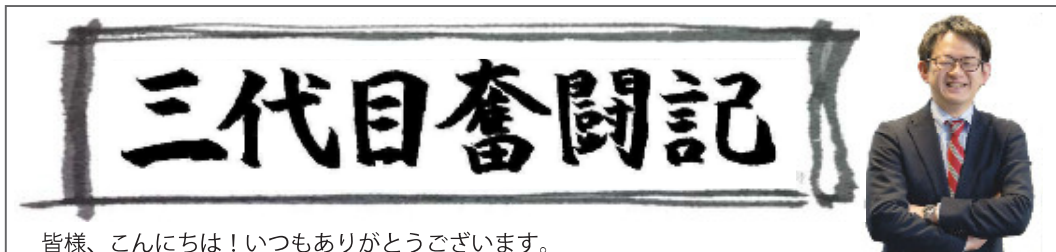
進駐軍の宿舎建設に必要とされている乾式工法と建材は戦後復興を遂げようとしている今、建設業にとって不可欠なものになる！会長は確信していました。しかし、ここは福井。地方にいては新建材はもちろん最新の情報すらなかなか入ってこないのです。会長は思いました。「新建材がどんなものか知りたい！新建材をどうにかして手に入れ、この福井の地にも広めたい！」

会長は自ら東京へ買い付けに行くことを決めました。自分の目で見て、自分の耳で聞いて自分が納得したものをお客様に伝える。そうしなければ、建築のプロであるお客様の首を縦に振ることは出来ないと分かっていたのです。

自ら買い付けに行った会長が目にした光景とは！？
今月号はここまで♪気になる続きは来月号をお楽しみに！！



営業用のバイクにまたがる会長



皆様、こんにちは！いつもありがとうございます。
最近メガネからコンタクトレンズに替えたタッセイ 3 代目・常務の田中陽介です。
昨年 6 月のベトナム・ハノイに続き、1 月末にホーチミンへ行ってきました！
今回はベトナム人研修生を内装工事の職人として福井に受け入れる面接と実技試験の為、つまり本気の渡航でした。
日本式の内装工事に特化した学校【ハインデコ】を訪れると、「ヘルメットよし！安全帯よし！顔色よし！」と日本語で指差し呼称が聞こえます。おおっ、真剣な眼差し。そして日本語が上手いなあ。これは期待が出来そうです！



学校の外観と朝礼の様子

この日は入学してから 3 ヶ月の研修生が 60 名いて日本から運んだ石膏ボードや、軽量鉄骨下地材を使い現役を退いた日本の職人の親方から指導を受け、天井下地を組んだり、差し金でボードを測って切ってビス留めしたりと、思っていた以上に技術レベルが高く感心しました。



内装工事の実技試験の様子

それから、5 名ずつに分かれたグループ面接です。
今回心に残ったのは、家族の為に故郷を離れて日本にやって来る若者の志でした。3 年間日本で働き、ベトナムの 10 倍以上の賃金を親に仕送りしたいというのです。
彼らにとって日本で働く事は、宝くじに当たるのと同じ位の幸運だとも聞いて、その熱意に応えるべく、充実した職場と住環境を整えて応援しようと感じました。

選考の結果、ルアン君 (20 歳) とナム君 (23 歳) の 2 人が北陸初のベトナム人内装職人として、5 月から福井にやって来ます！彼らが現場に入った際は、皆さんどうか応援していただけたら幸いです。



ナム君 (左) とルアン君 (右)

株式会社タッセイ 常務取締役 田中陽介

みんなのらくがき帳

～編集部からの自由コマ～

立春が過ぎててもまだ寒くて重ね着が手放せないハウジング西山です。
先日初めて子どもを歯医者連れて行ったのですが、最近では小児専門医なる人（石川県では 3 人）がいてケアも抜群でした。
スクリーンは絵柄の入った制服で怖さを軽減し治療中は診察台の上にある専用モニターで好きな DVD が見れちゃうんです。
何だか驚沢～(*^。^*)
おかげで人見知りのわが子でもまったく泣きませんでした、やっぱり虫歯予防にはこまめな歯磨きですね！



ふたりで歯みがき中

